

会議録

会議の名称	令和2年度守谷市保健福祉審議会 第1回障がい者福祉分科会	
開催日時	令和2年9月10日(金) 開会：14時30分 閉会：16時30分	
開催場所	守谷中央図書館 視聴覚室	
所管課	保健福祉部 社会福祉課	
出席者	委員	小田分科会長, 佐久間委員, 新田委員, 清水委員, 金沢委員 計5名
	その他	株式会社サーベイリサーチセンター 大木氏
	事務局	枝川課長補佐, 松本係長, 新田主事 計3名

審議経過

1 開会
2 あいさつ
3 議題
(1) 守谷市障がい福祉に関するアンケート調査報告書について 守谷市障がい福祉に関するアンケート調査報告書について説明を受けた。 避難所を知っている方について、福祉避難所が少ないので避難所を知っているればいいと思うが、認知度が低いから障がい者の方にもっと情報提供をしてほしい。 福祉サービスについて、利用の方法が分からぬといふのはよくないので、今後改善してほしい。 サービスの満足度で不満は少ないが具体的に掘り下げていきたい。自由記述でもいろいろ聞ける。家族や親族との同居が多いので、その方達からの声も聽けるような質問があるとよいと思う。 などの意見があり、これらの意見を参考に進めて行くこととなった。
(2) 守谷市障がい福祉計画(第5期)進捗状況報告について(令和元年度実績報告) 守谷市障がい福祉計画(第5期)進捗状況報告(令和元年度実績報告)について説明を受けた。 前回作成の各サービスの計画値と実績値が乖離しているので、今後は、よく分析して計画を立てていくのが良い。

精神障がい者保健福祉手帳の1級が減っている。改善する要因を分析して把握していただければと思う。

(3) 守谷市障がい福祉計画（第6期）守谷支障がい児福祉計画（第2期）骨子案について

守谷市障がい福祉計画（第6期）守谷支障がい児福祉計画（第2期）骨子案について説明を受けた。

現実問題として地域移行が難しい状況だと思う。数値上の計画はいいが具体的に移行の希望などに焦点を当てないと計画倒れになる。実現性を踏まえた計画にしてほしい。

地域移行とか就労移行は必要になってくる。そういう計画や目標が相応しいが、実現可能なのかどうかが問題。グループホームは福祉サービスでもあるが地域生活へ移行する先の資源として定義になってしまふ。見方によっては結局福祉サービスの利用であろうということになる。そうすると就労もそうだがグループホームビジネスや就労移行ビジネスという捉え方もある。守谷市でもそのようなビジネスが増えているという実情もある。社会資源が増えて選択肢が増えるのはいいが、質が確保できるかが問題。高齢福祉では義務だが第三者評価がある。

アンケートの自由回答についての生の声は非常に大事。計画策定に結び付けるのも大事だが、それ以上に具体的に切羽詰まった状況もある。具体的な対応をお願いしたい。

地域ケアだけでも、悪く言うと地域に丸投げともなる。障がいに関する偏見、差別という問題もあるので啓発が大事。サービスの質も重要になる。そこも含めて対応を検討してほしい。

などの意見があり、これらの意見を参考に進めて行くこととなった。